

-(으)ㄴ/는 바에야

どうせ～するのなら

すでにそうなった以上という前提から、思い切った選択を導きます。日本語の「どうせ～なら」に当たります。

■ つけ方

品詞	形	例
動詞（現在）	-는 바에야	하다 → 하는 바에야
動詞（過去）	-(으)ㄴ 바에야	시작한 바에야
縮約	-(으)ㄴ 바에야	할 바에야
近い形	-(으)ㄴ 바에는	ほぼ同じ
後ろ	思い切った選択	차라리 / 제대로
分かち書き	바 は依存名詞	하는 바에야

■ 使い方と注意

どうせなら、と思い切った選択を導きます。이왕 시작한 바에야 제대로 해 봅시다（どうせ始めたのならちゃんとやってみましょう）。

이왕・기왕 とよく組みます。「せっかく」「どうせ」に当たる副詞で、이왕 -는 바에야 の形が定番です。

-느니 との違いは、느니 が「するくらいならしないほうがまし」と消極的なのに対し、바에야 は「するならとことん」と積極的な点です。

-(으)ㄴ 바에는 とほぼ同じですが、こちらは消極的な選択にも使われます。

■ 例文

- 1

이왕 할 바에야 제대로 합시다.
どうせやるなら、きちんとやりましょう。
- 2

기다릴 바에야 차라리 걸어가는 편이 낫겠다.
待つくらいなら、いっそ歩いて行くほうがましです。
- 3

이렇게 살 바에야 처음부터 다시 시작하겠다.
こんなふうに生きるくらいなら、最初からやり直します。
- 4

이미 시작한 바에야 끝까지 가 봐야지요.
すでに始めたからには、最後まで行ってみるべきでしょう。
- 5

기왕 만들 바에야 좋은 재료를 쓰시다.
どうせ作るなら、良い材料を使いましょう。
- 6

사과할 바에야 애초에 그러지 말았어야 했다.
謝るくらいなら、最初からそうすべきではありませんでした。

■ 紛らわしいもの

-느니
「するくらいならしないほうがまし」と消極的です。바에야 は積極的な選択です。
하느니 안 하겠다（消極） / 하는 바에야 제대로（積極）

-(으)ㄴ 바에는
ほぼ同じ形ですが、消極的な選択にも使われます。
갈 바에는 안 가겠다 / 가는 바에야 잘 가자

-(으)ㄴ/는 이상
論理的な帰結を導きます。바에야 は思い切った決断です。
시작한 이상（からには） / 시작한 바에야（どうせなら）

■ まちがえやすい点

- ✕ 하는바에야

○ 하는 바에야

바 は依存名詞なので分かち書きします。
- ✕ 하는 바에야 안 하겠다.

○ 하느니 안 하겠다.

消極的な選択には 느니 を使います。
- ✕ 좋은 바에야

○ 形容詞には使いにくい

行為の選択を導く形です。